

じゅんじょをたしかめながらおもちゃ作りのせつめい書を書こう

中心学習材「山のぼり人形の作り方」(自作)

<育てたい主となる能力>

◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。(書ウ)

<主となる言語活動>

◎おもちゃ作りの絵入り説明書を書くこと。

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

子どもたちは、これまでに説明文「たんぼぼのちえ」では、たんぼぼの成長の順序や様子、形を変えていく理由について読み取った後、自分で選んだ植物の知恵について絵や説明を加えながら書く活動を行った。「サンゴの海の生き物たち」では、問いかけの文に着目し、事柄の順序を考えながら生き物たちが互いにかかわり合っていることを読み取った後、海の生き物の不思議をカードにまとめる学習を行った。

「かんさつ名人になろう」では、身近な物を観察して、知らせたいことがよく分かるように、必要な事柄を集め整理して観察文を書くという学習を、「もうすぐ夏休み」では、尋ねて教えてもらった事を基に事柄の順序に気を付けて組み立て、文章を書く学習も行ってきた。また、日常活動としては、週に1、2回のペースで家庭学習として日記に取り組み、身の回りの出来事を文章にしている。

これらの学習を通して、子どもたちは、経験したことや調べたことなどを相手や目的を意識しながら、順序に気を付けて分かりやすく書こうとするようになってきた。

(2) 学習材観

本単元「じゅんじょをたしかめながらおもちゃ作りのせつめい書を書こう」は、順序に気を付けながらおもちゃ作りの絵入り説明文を書くことをねらいとしている。また、本単元は2年生から6年生までの各学年に設けられた情報活用単元の系列にも属し、その最初に位置付けられた単元である。

中心学習材「山のぼり人形の作り方」では、図工に時間に作って楽しんだおもちゃの作り方を絵入り説明書に表すことを学ぶ。児童にとって、自分が作ったおもちゃの作り方をみんなに知らせるために説明書を作ることは、意欲的に取り組める活動であると考え。順序が分かるようにすること、文に合わせて絵を描くこと、短い文にすること、することと気を付けることを分けて書くことで、分かりやすい説明書について学習する。

(3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、自分の作ったおもちゃの作り方を説明書に表し、その説明書を基におもちゃ作りをするという単元のゴールを明確にして学習計画を立てる。

第2次では、「山のぼり人形の作り方」で説明書の書き方について学んだ後、図工で作った「ケーブルカー」の説明書を書く学習を行う。順序を確かめながら作り方を考え、共同作文で説明書を仕上げる。誰でも説明書通りにおもちゃ作りをするためには、どんなことを書けばよいかとらえられるようにする。

第3次では、自分の選んだおもちゃ作りの説明書を書く活動を行う。生活科の時間にゲストティーチ

ヤーによる手作りおもちゃ説明会を行い、そこで教えてもらったおもちゃの作り方をみんなに教えるための説明書を作る。

第4次では、友達の説明書を読んで、そのおもちゃを作り、説明書のよさや感想を交流する。

(4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・作ったおもちゃの作品カードを書く(図工)
- ・計算の順序を考えたり，課題に対する自力解決や考えを説明したりする(算数)
- ・経験したことや事柄などの順序を考えながら書く（日常生活）

2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎説明文の順序などを考えて内容の大体を読み取ろうとしたり，分かりやすい順序を考えて説明書を作ろうとしたりする。	・説明書作りに興味をもち，進んで教材文を読み取ろうとしたり，分かりやすい順序を考えながら説明書を作ろうとしたりしている。
書く能力	◎物の作り方や遊び方について説明する文を，順序を考えながら分かりやすく書くことができる。 (書ウ)	・説明書として必要な内容を選び，要点を押さえた短い言葉で順序よく説明を書いている。
読む能力	○文章と絵のつながりを考えながら内容の大体を順序よく読み取ることができる。 (読イ)	・文章と絵のつながりを考えながら内容の大体を順序よく読み取っている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文の中における主語と述語との関係に注意すること。(イ(カ))	・主語と述語の関係に注意し，説明書を書いている。

3 学習指導計画（全 1 1 時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。
(1時間)

① おもちゃ作りの絵入りの説明書を書く見通しをもち、単元の学習計画を立てる。
<評価> _____
①単元の見通しをもち、学習内容を把握しようとしている。《発言・態度》

〈図画工作〉
ケーブルカーを作
って遊ぶ。

第2次
ケーブルカーの説明書を書く。
(4時間)

②③ 「山のぼり人形の作り方」を読んで作り方を順序よく読み取り、説明書の構成を理解する。
④ 絵を基にケーブルカーを作った順序を説明する文を書き、順序よく並べる。
⑤ 文章全体の構成や、分かりやすい説明文の書き方について理解する。
<評価> _____
②③順序を表す言葉や絵に注目し、山のぼり人形の作り方を読み取っている。《発言・サイドライン》
④したことを思い出しながらケーブルカー作りの順序を考え、短い文で書いている。《発言・カード》
⑤ 分かりやすい説明書の書き方に気付いている。《発言・態度》

知らせたいことがよく分かるように必要な事柄を書く知識・技能を活用して、説明書を書く。

〈生活〉
いろいろなおもちゃ作りをする。

第3次
絵入りの説明書を書く。
(4時間)

⑥ 作り方の説明書を作るおもちゃを決め、説明書の項目について考える。
⑦ 説明の仕方を考えて組み立て表を作る。
⑧⑨組立て表を基に、それぞれのおもちゃの作り方や遊び方の説明書を作る。(本時⑧)
<評価> _____
⑥ 説明書に必要な内容を考え、項目を書き出している。《発言・ワークシート》
⑦ 説明書として必要な内容を選び、作る手順に沿って組立て表を作っている。《発言・カード》
⑧ おもちゃの作り方の順序が分かるように説明文を書いている。《発言・カード》
⑨ おもちゃの作り方と遊び方の説明を順序が分かるように書いている。《発言・カード》

第2次で学んだ説明書の書き方の知識・技能を活用しておもちゃ作りの説明書を書く。

第4次
友達の作った説明書を基におもちゃを作り、感想を交流する。
(2時間)

⑩⑪できあがった説明書を交換して読み合い、説明書に沿っておもちゃを作ったり感想を話し合ったりする。
<評価> _____
⑩⑪説明書として分かりやすく書かれているかどうか評価している。《態度・カード》

4 本時の指導

(1) ねらい

挿し絵を使いながら、順序に気を付けて分かりやすくおもちゃ作りの説明書を作ることができる。

(2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

第2次で学んだ順序に気を付けて分かりやすく書く説明書の書き方の知識・技能を生かし、自分が選んだおもちゃ作りの説明書を書き、友達と交流する。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	総	指導上の留意点
つかむ	<p>1 前時までの学習を想起し、本時の学習課題を確認する。(2分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おもちゃの作り方のせつめいを、わかりやすく書こう。</p> </div> <p>2 課題解決の見通しをもつ。(5分)</p> <p>(1) 分かりやすく書くために気を付けることを全体で確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・順序(番号) ・絵と文が合うようにする。 ・何をどうするの主述をはっきりさせる。 ・詳しくする言葉(数・大きさ・位置など) ・短い文で書く。 </div>	全	<p>○前時の学習を振り返り、本時はいよいよ自分の選んだおもちゃ作りの説明書を書くという意欲をもつことができるようにする。</p> <p>「分かりやすい説明を書くためには、どんなことに気を付ければよいでしょうか。」</p> <p>○「山のぼり人形の作り方」気を付けたことを想起できるようにする。(学習したカードを掲示しておく)</p> <p>○本時は何ができればよいかを端的にまとめ、一人一人が課題に向かって意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>○「詳しくする言葉」の内容には、道具の使い方などの細かい視点も含まれることを確認する。</p>
自分が選んだおもちゃ作りの説明書を書く	<p>3 作り方の説明書を書く。(25分)</p> <p>全体で確かめ合いながら、カードを書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・説明の文を書く。 ・見直しをする。 (「,」や「。」が落ちていないか。文字の間違いはないか。) ・絵を描く。 </div> <p>4 書いた文を読み合い、よさを学び合う。(5分)</p>	個	<p>○大事な言葉を落とさず書くようにする。</p> <p>○1文目には手順としてすること、2文目にはその際に気を付けることを書くことを確認する。</p> <p>○見直しの観点を提示し、早く書き終わった子どもは観点に沿って推敲できるようにする。</p> <p>○①のカードと同様の手順で、②③④のカードも書くことができるよう机間巡視をしながら指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価〉</p> <p>A 順序に気を付けて、絵と文が適合するように具体的な言葉を使って分かりやすく説明を書いている。</p> <p>B 順序に気を付けて、絵と文が適合するように説明を書いている。</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物のおもちゃを見て、何をしたのか口頭で言いながら文章に書くことができるようにする。 </div> <p>・本時の課題の観点に気を付けて聞き、自分の書いた説明書も振り返ることができるようにする。</p>

ま と め る	<p>5 学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価する。(5分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・できたこと ・できるようになったこと </div> <p>(2) 振り返りを交流する。(2分)</p>	個	<p>○本時の学習を振り返り自己評価すること，友達同士で相互評価すること，教師が評価することで学習の成果を確かめ成就感をもつことができるようにする。</p>
	<p>6 次時の学習内容を確認する。 (1分)</p>	全 全	<p>○本時のねらいにかかわる評価をしている子どもを意図的に指名し，価値付けを図る。</p> <p>○次時は作り方と遊び方を書くことを確認する。</p>